



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 株式会社丸八ホールディングス 上場取引所 名
 コード番号 3504 URL http://www.maruhachi.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧口 陽夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ長 (氏名) 工藤 知足 (TEL) 045-471-0808
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績 (平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	11,605	△18.0	1,105	△29.2	1,256	△38.7	818	△18.8
30年3月期第3四半期	14,153	△10.9	1,561	△14.2	2,049	4.5	1,007	△27.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 367百万円(△68.8%) 30年3月期第3四半期 1,175百万円(106.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	52.79	—
30年3月期第3四半期	65.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	60,034	45,744	76.2
30年3月期	58,762	45,842	78.0

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 45,744百万円 30年3月期 45,842百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,824	△16.5	1,059	△33.4	1,617	△2.5	1,057	△4.2	68.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー 社(社名) 、除外 ー 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	16,579,060株	30年3月期	16,579,060株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	1,081,540株	30年3月期	1,081,540株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	15,497,520株	30年3月期3Q	15,497,520株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内閣府の月例経済報告によりますと、「景気は、緩やかに回復している。」とされており、先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響については、留意すべき状況が続いております。

(寝具・リビング用品事業)

当第3四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ減収・減益となりました。その主な要因は、G L BOWRON & CO LIMITEDを平成29年8月23日に株式譲渡したことによるものです。主力のダイレクトセールス部門におきましては、消費者保護と健全な市場形成の観点から、自主的にガイドラインを制定し、取引の適正化を推進しております。また、一般にも労働者不足が問題とされる中、販売員増員を課題として認識しておりますが、継続的な募集活動に努めるも奏功せず減員となり、前年同期比において減収となりました。

ダイレクトセールス以外の国内卸売、レンタル、ホテル・旅館向け販売においては、概ね計画どおりの業績で推移いたしました。

(不動産賃貸事業)

当第3四半期連結累計期間の状況といたしましては、前年同四半期と比べ増収・増益となりました。主要物件である西新宿パークウェストビル・丸八青山ビル・丸八新横浜ビルが都心部の良好な不動産市況を背景に堅調に推移したことに加え、前期下期に完成した筑後マンションの賃貸も順調に推移しており、増収につながりました。さらに経費面では、設備関係費が前年同四半期を下回り増益となりました。

以上の結果、売上高は11,605,293千円と前年同四半期と比べ2,547,822千円(18.0%)の減収となりました。営業利益は1,105,141千円と前年同四半期と比べ456,097千円(29.2%)の減益となりました。経常利益は前年同四半期において為替差益を142,061千円計上した一方で、当第3四半期は為替差損を250,368千円計上したこと等により、1,256,556千円と前年同四半期と比べ793,382千円(38.7%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は818,061千円と前年同四半期と比べ189,516千円(18.8%)の減益となりました。

セグメント毎の状況は以下のとおりであります。

① 寝具・リビング用品事業

当セグメントにおきましては、売上高は10,887,946千円と前年同四半期と比べ2,572,317千円(19.1%)の減収、セグメント利益(営業利益)は1,154,850千円と前年同四半期と比べ661,383千円(36.4%)の減益となりました。

② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は717,346千円と前年同四半期と比べ24,495千円(3.5%)の増収、セグメント利益(営業利益)は402,960千円と前年同四半期と比べ176,385千円(77.8%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,272,528千円増加し、60,034,896千円となりました。これは主に、現金及び預金が979,506千円減少、有価証券が894,436千円減少した一方で、投資有価証券が2,051,829千円増加、量販・通販向けを中心とした仕入・生産・販売活動により、たな卸資産が388,142千円増加、受取手形及び売掛金が557,295千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して1,370,325千円増加し、14,290,084千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が1,000,000千円減少した一方で、長期借入金が2,500,000千円増加、上述の仕入・生産活動により支払手形及び買掛金が269,179千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して97,796千円減少し、45,744,812千円となりました。これは主に、期末配当を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が353,136千円増加した一方で、海外子会社の換算レートの変動により為替換算調整勘定が398,981千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年11月12日付で公表いたしました「第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりであります。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,103,974	27,124,468
受取手形及び売掛金	7,720,467	8,277,762
有価証券	894,436	—
たな卸資産	2,220,010	2,608,152
その他	371,292	522,423
貸倒引当金	△64,360	△76,600
流動資産合計	39,245,821	38,456,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,075,098	18,920,313
減価償却累計額	△14,426,491	△14,379,789
建物及び構築物（純額）	4,648,606	4,540,523
機械装置及び運搬具	3,402,333	3,092,374
減価償却累計額	△3,183,629	△2,841,825
機械装置及び運搬具（純額）	218,703	250,549
工具、器具及び備品	782,117	742,082
減価償却累計額	△564,564	△522,116
工具、器具及び備品（純額）	217,552	219,965
土地	13,237,065	13,141,824
建設仮勘定	130,309	358,175
有形固定資産合計	18,452,237	18,511,039
無形固定資産	34,782	28,635
投資その他の資産		
投資有価証券	504,284	2,556,114
繰延税金資産	214,577	213,697
その他	349,840	300,287
貸倒引当金	△39,176	△31,081
投資その他の資産合計	1,029,526	3,039,017
固定資産合計	19,516,546	21,578,691
資産合計	58,762,368	60,034,896

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	464,290	733,469
1年内返済予定の長期借入金	1,500,000	500,000
未払金	751,420	814,586
未払法人税等	264,426	179,592
賞与引当金	231,711	106,490
返品調整引当金	82,052	71,619
割賦利益繰延	1,461,171	1,452,376
その他	910,429	720,390
流動負債合計	5,665,502	4,578,524
固定負債		
長期借入金	5,500,000	8,000,000
役員退職慰労引当金	23,982	23,982
退職給付に係る負債	413,109	412,135
長期預り保証金	1,089,688	1,079,537
繰延税金負債	58,786	27,833
その他	168,690	168,071
固定負債合計	7,254,256	9,711,559
負債合計	12,919,758	14,290,084
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,427,998	1,427,998
利益剰余金	46,929,830	47,282,967
自己株式	△2,216,142	△2,216,142
株主資本合計	46,241,687	46,594,823
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,490	9,460
繰延ヘッジ損益	△933	145
為替換算調整勘定	△460,635	△859,617
その他の包括利益累計額合計	△399,078	△850,011
非支配株主持分	0	0
純資産合計	45,842,609	45,744,812
負債純資産合計	58,762,368	60,034,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	14,153,116	11,605,293
売上原価	5,260,935	3,997,906
売上総利益	8,892,180	7,607,387
販売費及び一般管理費	7,330,941	6,502,246
営業利益	1,561,238	1,105,141
営業外収益		
受取利息	234,908	255,886
受取配当金	10,760	35,491
受取手数料	78,664	73,397
為替差益	142,061	—
その他	42,614	49,631
営業外収益合計	509,009	414,406
営業外費用		
支払利息	16,000	11,236
為替差損	—	250,368
貸倒引当金繰入額	2,290	—
その他	2,017	1,384
営業外費用合計	20,307	262,990
経常利益	2,049,939	1,256,556
特別利益		
有形固定資産売却益	6,732	58,115
ゴルフ会員権売却益	—	5,666
特別利益合計	6,732	63,782
特別損失		
子会社株式売却損	154,740	—
減損損失	—	68,280
有形固定資産除却損	20,742	12,174
ゴルフ会員権売却損	—	3,335
ゴルフ会員権評価損	—	3,300
特別退職金	35,017	—
特別損失合計	210,500	87,090
税金等調整前四半期純利益	1,846,171	1,233,249
法人税等	838,592	415,187
四半期純利益	1,007,578	818,061
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,007,578	818,061

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	1,007,578	818,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76,236	△53,029
繰延ヘッジ損益	△138	1,078
為替換算調整勘定	91,541	△398,981
その他の包括利益合計	167,639	△450,932
四半期包括利益	1,175,217	367,128
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,175,217	367,128
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	13,460,264	692,851	14,153,116	—	14,153,116
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	190,743	190,743	△190,743	—
計	13,460,264	883,594	14,343,859	△190,743	14,153,116
セグメント利益	1,816,233	226,574	2,042,808	△481,569	1,561,238

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△190,743千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△481,569千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	寝具・リビング 用品事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	10,887,946	717,346	11,605,293	—	11,605,293
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	183,973	183,973	△183,973	—
計	10,887,946	901,320	11,789,267	△183,973	11,605,293
セグメント利益	1,154,850	402,960	1,557,810	△452,669	1,105,141

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△183,973千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額△452,669千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

不動産賃貸事業において、一部の固定資産が遊休状態となったことに伴い、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し68,280千円を減損損失(特別損失)に計上しております。